

令和2年12月期 第2四半期 決算説明資料

(令和2年1月1日～令和2年6月30日)

令和2年8月7日

株式会社トーア紡コーポレーション

東京証券取引所 市場第一部

証券コード：3204

目次

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 令和2年12月期 第2四半期 実績 | P. 3~13 |
| 2. 令和2年12月期 通期 実績予想 | P.14~15 |
| 3. アフター（ウイズ）コロナの事業環境 | P.16 |
| 4. トピックス | P.17~18 |

連結決算概要

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

(金額：百万円)	第 2 四 半 期 実 績			前年同期比 増減率
	平成30年12月期	令和元年12月期	令和 2 年12月期	
売 上 高	9,569	9,413	7,307	△22.4%
営 業 利 益	215	182	94	△48.1%
営 業 利 益 率	2.2%	1.9%	1.3%	△0.6%
経 常 利 益	193	145	94	△35.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	52	102	95.7%

新型コロナウイルス感染拡大の影響が響く

セグメント別業績

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

	第 2 四 半 期 実 績									前年同期比増減率		
	平成30年12月期			令和元年12月期			令和 2 年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
(金額：百万円)												
衣 料 事 業	4,092	△0	－	3,850	17	0.4%	2,704	12	0.5%	△29.8%	△26.9%	0.1%
インテリア 産業資材事業	3,410	97	2.8%	3,571	106	3.0%	2,767	△9	－	△22.5%	－	－
エレクトロ ニクス事業	996	23	2.3%	867	1	0.2%	726	△1	－	△16.2%	－	－
フ ァ イ ン ケミカル事業	474	65	13.7%	617	88	14.4%	544	40	7.4%	△11.7%	△54.9%	△7.0%
不動産事業	388	232	59.8%	369	226	61.3%	415	272	65.6%	12.7%	20.6%	4.3%
そ の 他	206	△5	－	137	△28	－	148	△4	－	7.4%	－	－
調 整 額 (販 管 費 等)	－	△198	－	－	△230	－	－	△215	－	－	－	－
合 計	9,569	215	2.2%	9,413	182	1.9%	7,307	94	1.3%	△22.4%	△48.1%	△0.6%

新型コロナウイルス感染拡大による 当社事業への影響まとめ

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

事業部	当第2四半期までの主な影響
衣料事業	出張・訪問制限により商談が滞り、新規・追加受注が低迷。 毛糸市況の悪化による売上の減少。
インテリア 産業資材事業	自動車関係の売上・生産が大幅減少、生産コストもアップ。 展示会の減少によりカーペットの受注減少。
エレクトロ ニクス事業	電動工具の売れ行き不振による売上の減少。 海外での技術指導が出来ないことによる新商品の量産延期。 人口呼吸器用の電子部品を新規受注。
ファイン ケミカル事業	テレワークの定着でプリンター向け受注が低迷。 自動車等の需要減退により、添加剤・触媒の受注も低調。
不動産事業	事務所需要減退により当社所有オフィスビルの空室への入居案内が減少、 一部テナントより賃料減額の要望等あったが、業績への影響は軽微。
その他事業	在宅時間の増加のため化粧品の需要が減退し、化粧品原料の売上が減少。 衛生関連商品の新規受注あり。

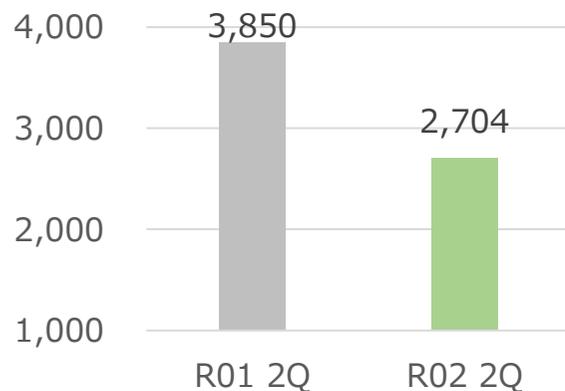
衣料事業

TOABO

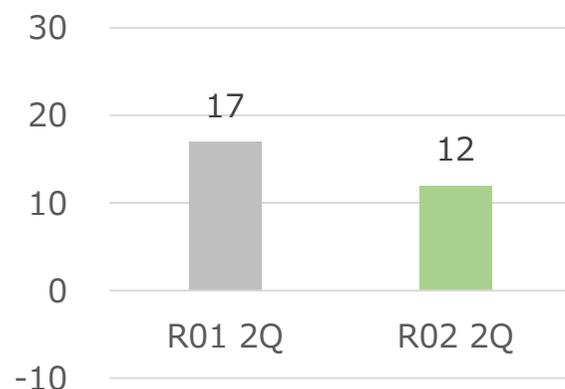
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	2,704百万円	29.8%減
営業利益	12百万円	26.9%減
営業利益率	0.5%	0.1%増

業績概要

▶ 毛糸部門

価格改定により利益率が改善するも、新型コロナウイルス感染拡大による市況の冷え込みにより減収

▶ ユニフォーム部門

スクール向けは価格改定前の先行需要により増収
企業向けは新規案件獲得件数や追加発注が減少し減収
官公庁向けは新規案件獲得できず減収

▶ テキスタイル部門

国内のスーツ需要低迷に加え、郊外量販店の一時休業や商談中止などの影響を受け大幅減収

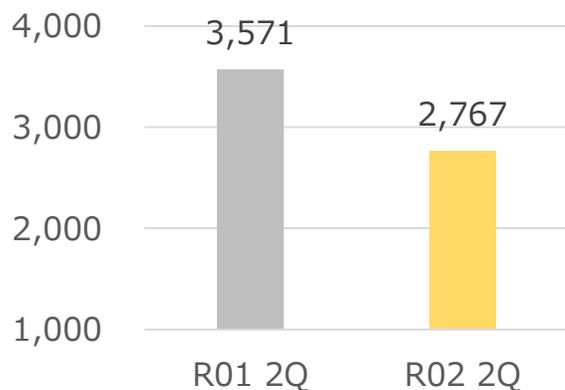
インテリア産業資材事業

TOABO

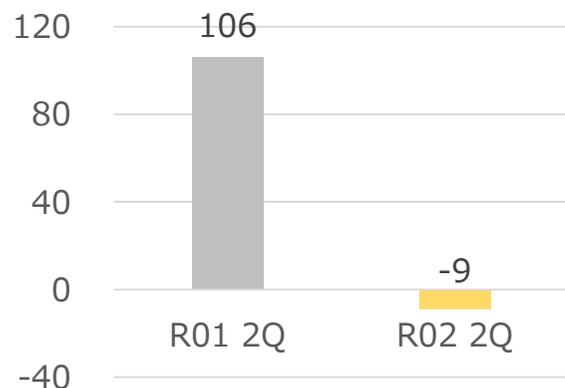
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高 2,767百万円 22.5%減

営業損失 9百万円 前年同期は営業利益106百万円

営業利益率 - 前年同期は3.0%

業績概要

- ▶ ポリプロファイバー部門
カーペット用、自動車内装材用原綿とも需要が落ち込む
- ▶ カーペット部門
ダストコントロールマット向けは順調に推移するも、ホテル向け等の需要が減少し、減収減益
- ▶ 不織布部門
緑化資材・防草資材、土木関連、寝装関連とも堅調に推移し増収増益
- ▶ 特殊繊維部門
カーボン繊維が前年後半より低調で減収
- ▶ 自動車内装材部門
一部の軽自動車向けは回復しているものの、その他の車種や北米向けは生産調整が入り受注が半減、大幅な減収減益

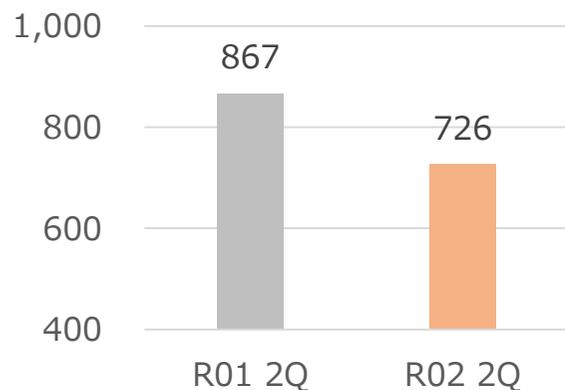
エレクトロニクス事業

TOABO

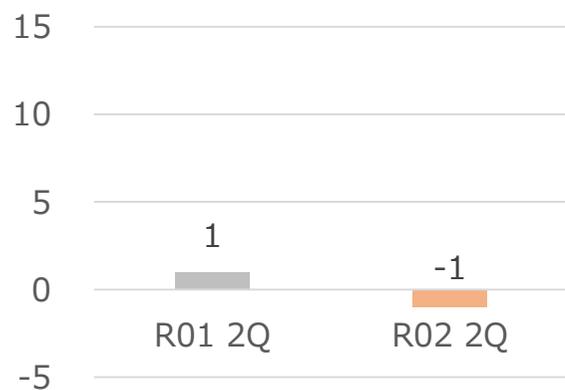
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



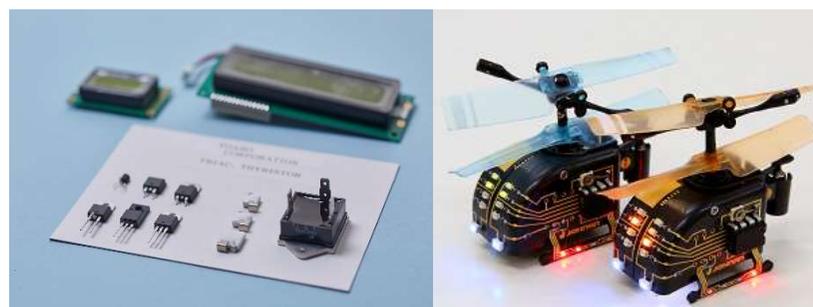
営業利益



売上高	726百万円	16.2%減
営業損失	1百万円	前年同期は 営業利益1百万円
営業利益率	—	前年同期は0.2%

業績概要

- ▶ 人工呼吸器用電子部品が新規に採用されるも、家電向け成型品、特殊センサー、電動工具向けコントローラーが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、売上が大幅に減少



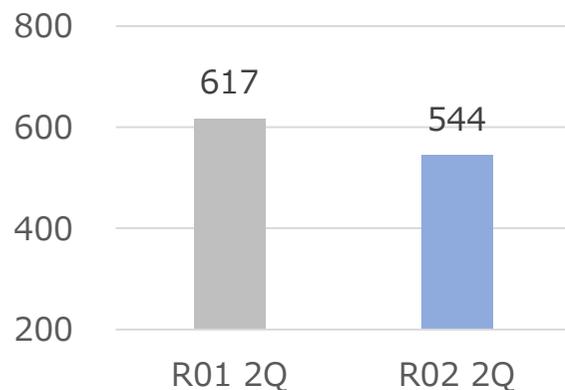
ファインケミカル事業

TOABO

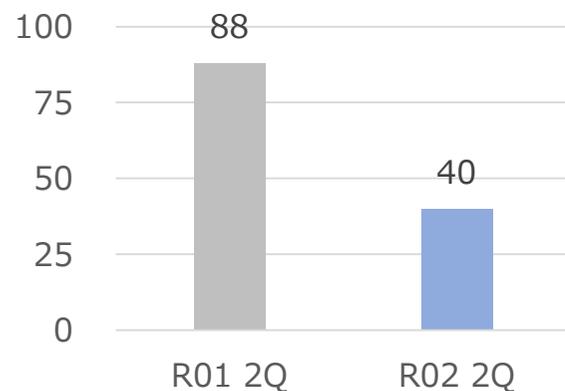
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



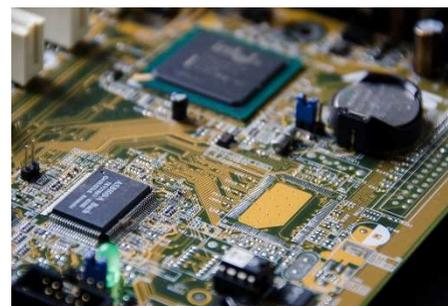
営業利益



売上高	544百万円	11.7%減
営業利益	40百万円	54.9%減
営業利益率	7.4%	7.0%減

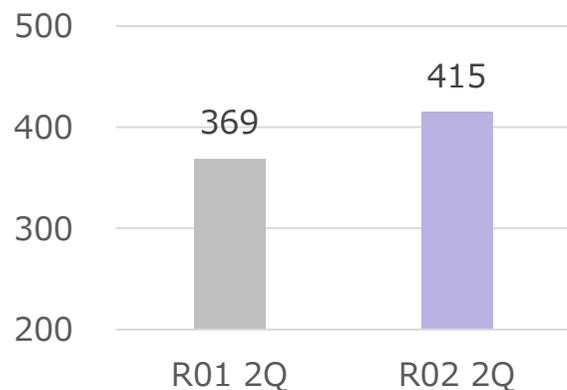
業績概要

▶ レジスト関連材料や電子デバイス原料などの成長分野はコロナ禍にあっても概ね堅調であったが、自動車向け機能性材料やトナー材料の受注減と医薬品原体の在庫調整が重なり、減収減益

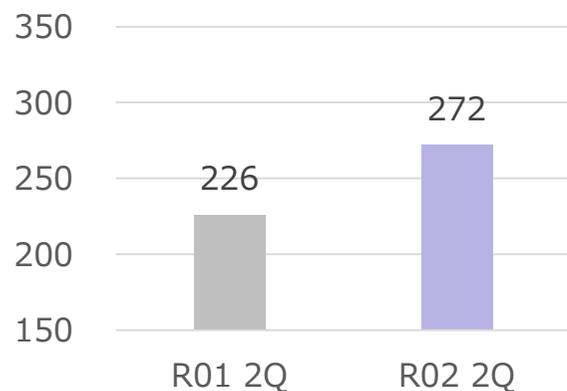


(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	415百万円	12.7%増
営業利益	272百万円	20.6%増
営業利益率	65.6%	4.3%増

業績概要

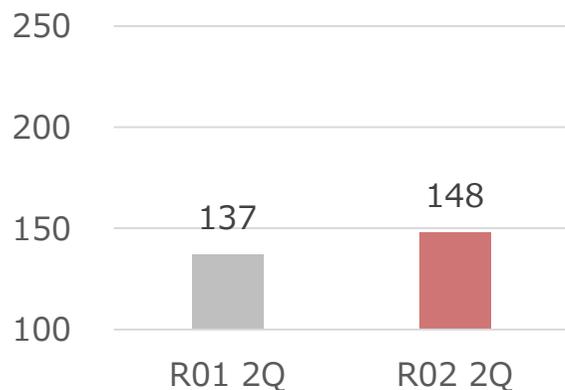
- ▶ 新型コロナウイルスの影響を受けた一部テナントから賃料減額の要望があるも、昨秋リニューアルオープンした主要ショッピングセンターにより収益が改善、オフィスビル賃貸も空室率の改善により順調に推移し、増収増益



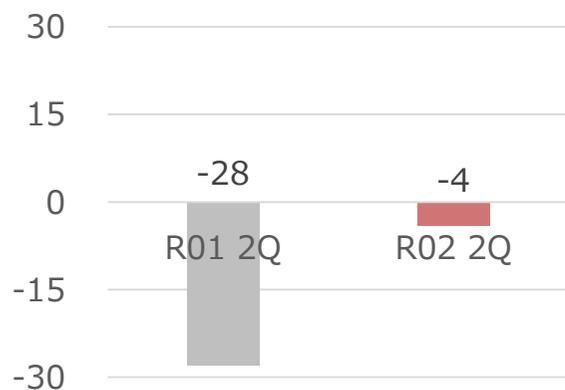
その他の事業

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	148百万円	7.4%増
営業損失	4百万円	前年同期は 営業損失28百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

業績概要

▶ 自動車教習事業

入校状況が好調に推移するとともに、トラクターの公道走行規制緩和による大型特殊免許の特需もあり増収

▶ ヘルスケア事業

ナールスゲン配合化粧品のおEMが決定し、ほぼ計画通り



連結貸借対照表 サマリー

TOABO

100周年に向かうトア紡グループ

(金額：百万円)

連結貸借対照表	令和元年12月	令和2年6月	増減
流動資産	8,648	10,181	1,533
固定資産	22,471	21,917	△554
資産合計	31,120	32,098	978
流動負債	7,122	7,757	635
固定負債	12,825	13,607	782
負債合計	19,947	21,365	1,418
株主資本	10,357	10,282	△75
その他包括利益累計額	806	442	△364
非支配株主持分	8	8	0
純資産合計	11,172	10,733	△439
負債・純資産合計	31,120	32,098	978
(自己資本比率)	35.9%	33.4%	△2.5%

連結キャッシュフロー サマリー

(金額：百万円)

連結キャッシュフロー	令和元年6月累計	令和2年6月累計	増減
営業キャッシュフロー	△1,297	△1,296	1
投資キャッシュフロー	△271	27	298
財務キャッシュフロー	1,583	1,935	352
現金及び現金同等物の期末残高	1,278	2,145	867

通期業績に係る事業環境

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

事業部	事業環境
衣料事業	アパレルの販売不振による毛糸需要の大幅減少。企業ユニフォームのモデルチェンジ中止による販売機会の減少。春の販売機会喪失に伴うスーツ市場の在庫過多による原反発注量の大幅減少。
インテリア産業資材事業	自動車関連は、一部の車種で秋頃にはほぼ戻るとの予想もあるが、世界生産の回復については先行き不透明。宿泊施設用商材の動きは鈍い。土木関連向けは堅調。
エレクトロニクス事業	電動工具関連は引き続き低調。電子部品関連の新規商材の受注のチャンスはある。
ファインケミカル事業	第2波・第3波の状況で、自動車・トナー関連向けは回復が遅れる懸念。5G市場が前倒しで立ち上がれば、電子材料の引き合いが高まる可能性あり。検査試薬向けの需要は堅調。
不動産事業	景気の先行き不透明感によるオフィス需要の減退。空室が出た場合、補填に時間を要す。
その他事業	化粧品需要の回復はまだ見込めず、化粧品原料は厳しい状況。衛生用品関連のビジネスチャンスは多い。

令和2年12月期 業績予想概要

(金額：百万円)	平成30年12月期 実績	令和元年12月期 実績	令和2年12月期 予想	前年同期比 増減率
売上高	19,374	18,669	15,000	△19.7%
営業利益	371	390	230	△41.1%
営業利益率	1.9%	2.1%	1.5%	△0.6%
経常利益	335	351	230	△34.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	248	165	170	2.4%

令和2年12月期の業績予想は当初予想を下方修正
新型コロナウイルス感染症の影響拡大

アフター（ウィズ）コロナの事業環境

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

事業部	事業環境
衣料事業	防護服・マスク・防災用品など新規商材のビジネスチャンスあり。 テキスタイルでは、抗菌・抗ウイルス素材などの開発・提案販売が進む。
インテリア産業資材事業	在宅時間の増加により、身近なインテリア用品の需要が増える。 抗菌・抗ウイルス機能が注目され、販売チャンスが出て来る。 土木関連では、職人の手配がつけやすくなり発注増に繋がる。
エレクトロニクス事業	従来事業は新型コロナが収束すれば回復する見込み。中断している開発案件も 挽回可能。収束しなければ引き続き低迷。 新規電子部品の追加受注の可能性もあるが、その規模は限定的。
ファインケミカル事業	原料の調達の国内回帰の動きが加速すると、電子材料や医薬向けの各種中間体の 受託ビジネスが増え、新規商材獲得のチャンスに繋がる可能性。
不動産事業	在宅勤務の増加でオフィスの縮小移転・分散化の動きがあり、中規模オフィスビルへの 需要の高まりが期待される。
その他事業	衛生用品分野で、衛生用品・抗ウイルス対策用品のビジネスチャンスが拡大。

▶大阪新薬 / 新研究開発棟 本格始動

ファインケミカル事業の大阪新薬株式会社で昨年秋に完成した新研究開発棟が本格的に始動しました。

最新装置を配した実験室や打ち合わせ用の大小多目的ルーム、さらには化粧品原料やフォトレジスト原料の最終工程に最適なクリーンルーム設計を導入しました。

これにより、成長分野に位置づける半導体デバイス向けや、高齢化社会の進展で多様なニーズが見込まれるヘルスケア分野のスペシャリティケミカルの生産・研究開発機能をより一層強化し、「アメニティ＝快適」という価値を未来に、社会に届けます。



▶トーア紡マテリアル / カーボンリサイクルファイバー

インテリア産業資材事業のトーア紡マテリアル株式会社が、岐阜大学、三重大学、三重県工業研究所とともに参画する共同研究が、独立行政法人環境再生保全機構が公募した環境研究総合推進費に採択されました。

本研究の目的は、グローバル社会における環境再生保全ですが、将来的には当社グループのカーボン繊維事業の強化に繋がるものと考えております。

▶研究詳細

- 1.研究課題名： 3G2002 「リサイクル炭素繊維を原料とした連続繊維強化複合材料部材の開発」
- 2.研究代表者名：東海国立大学機構 岐阜大学 工学部 仲井朝美教授
- 3.研究機関名とサブテーマ：
 - 岐阜大学「新しいリサイクル炭素繊維基材の開発」
 - 三重大学「リサイクル炭素繊維基材の材料特性解析」
 - 三重県工業研究所「リサイクル炭素繊維基材の成形性に関する研究」
 - トーア紡マテリアル「リサイクル炭素繊維の連続繊維化及び製布化技術の開発」
- 4.研究期間： 令和2年4月～令和5年3月

本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。